

一 読み	二 画数	三 送り	四 構成	五 部首	六 対義	七 同音	八 誤字	九 四字	十 書取	合計	合格のめやす 50問(7割)
/12	/4	/5	/6	/6	/6	/7	/7	/6	/12	/71	

- 一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。
- ① 算数が得意だ。
とくい
- ② 二字の熟語を作る。
じゆくご
- ③ むかしの百姓は田畑をたがやした。
ひやくしょう
- ④ 名前をシールに付ける。
つける
- ⑤ 友だちを許す。
ゆるす
- ⑥ 朝ねぼうして学校に遅刻した。
ちこく
- ⑦ 保育園に通う。
ほいく
- ⑧ 寝坊してバスに乗りおくれた。
ねぼう
- ⑨ 潮が引く時間をする。
しお

- 二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。
- ⑩ 公園の銅像を見る。
どうぞう
- ⑪ 外国の文化について本でしらべた。
ぶんか
- ⑫ 会ひを納める。
おさめる
- ① 除
10画
- ② 官
8画
- ③ 否
7画
- ④ 寄
11画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① 長い道を歩いてすっかりつかれる。

疲れ

② この石は大きいのかかるい。

軽い

③ 町のまつりでたいこを聞いた。

祭り

④ ノートに字をかく。

書く

⑤ 星のうごきで運勢をうらなう。

占う

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの(れい 読書)

① 最良

ウ

② 投票

エ

③ 尊重

ア

④ 脱税

エ

⑤ 干満

イ

⑥ 希望

ア

⑤
液えき
体シ
(さんずい)④
面せ
積③
種しゅ
類禾
(のいへん)②
記ろく
録①
手かがみ
鏡金
(かねへん)休やす
むれい
イ
(にんべん)五
部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。⑥
長い
⇕短
い⑤
洋食
⇕和
食④
温暖
⇕寒
冷③
濁音
⇕清
音②
負ける
⇕勝
つ①
否認
⇕是
認「みじかい かつ ぜにん かんれい わしよく
せいおん」れい
大きい ⇕ 小さい六
反対の意味のことばを、「」から
えらんで漢字で書きましょう。⑥
演えん
じる

七

次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① イ大な人物の話聞く。

偉

② エン突からけむりが空へ上がる。

煙

③ この時計は少しクルっている。

狂

④ カン視員が子どもたちを見守る。

監

⑤ 二つの値を比カクして考える。

較

⑥ 荒れ地を開タクして畑にする。

拓

⑦ 庭ののびた草をかまで力る。

刈

八

次の文には、同じ読みのまちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の口に書きましょう。

① トラックで荷物を運般する。

般

搬

② 名前と住所を用紙に記再する。

再

載

③ 美しい色採の絵をかいだ。

採

彩

④ ぼくは真重に答えを選んだ。

真

慎

⑤ 池の魚が繁植して数がふえた。

植

殖

⑥ 地球の観境を守る活動に参加した。

観

環

⑦ 毎朝六時に起消する。

消

床

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 七転 八 倒

くるしくて、ころげまわること。

② 危機 一 髪

あぶないことがせまった、ギリギリのばあい。

③ 好機 到 来

待っていたよいときがやってくること。

④ 雲散 霧 消

もややくもがはれるように、あとがたなくきえること。

⑤ 山 紫 水 明

山はむらさき色にかすみ、川はすみきったけしき。

⑥ 人 跡 未 踏

人が足をふみ入れたあとがまだないこと。

+ — 線のことばを、漢字で書きましょう。

① ろうそくにひをつける。

火

② あつい本を読む。

厚

③ 新しいせいきがはじまる。

世 紀

④ テストの点を見て友だちがなげく。

嘆

⑤ かいがらをポケットにいれた。

貝

⑥ 国のほうりつを決める。

法 律

⑦ たきたてのはくまいはおいしい。

白 米

⑧ しょうこがないのでおくそくで話さない。

憶 測

⑨ 友だちに花たばをおくる。

贈

⑩ ゆきがたくさんつもった。

雪

⑪ かぜで学校をけっせきした。

欠 席

⑫ みんなでちからをあわせる。

力

